

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門						
主管課	建築指導課		都調-05		建築相談事業		
分野名	住宅・住環境		関連課				
目標 (目標値)	災害に強く、安全で快適な生活が送れるまちを目指す。 (住宅の耐震化率を90%にする)						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備 考		
	人 口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世 帯 数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	22,081	31,514	12,184			
	(国・県)	15,023	10,428	7,213			
	(負担金等)						
	(一般財源)	7,058	21,086	4,971			
	人員配置数	2.0人	2.0人	2.0人			
	人 件 費(千円)	15,190	15,822	17,034			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	37,271	47,336	29,218			
	市民1人当りの経費(円)	210	267	165			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
耐震相談	△	目標値	80件	80件	80件	80件	80件
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	49件	91件	108件	50件	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止			
建築相談事業	22,081	建築相談事業	19,009	今後の 方向性	A	理由 ・手法	平成25年度に「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正が行われ、国の基本方針において、建築物の耐震化率を平成32年度までに9割5分とする目標が定められたため、引き続き住宅の耐震改修を促進していく。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	平成25年度に国の「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正が行われたことから、それに合わせて、鎌倉市耐震改修促進計画の見直しを行う必要がある。										
課題解決のための取組	鎌倉市耐震改修促進計画の見直しについて、現在作業中である。					取組の結果	□解 決 ■未解決				
未解決の課題	平成25年度に国の「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正が行われたことから、それに合わせた鎌倉市耐震改修促進計画の見直し。										
中事業の評価	適切○要改善△(2面「評価の視点」を参照)		➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	引き続き、制度の見直し等を行うことで市民の利便性の向上を図り、住宅の耐震改修をさらに促進していく。 また、国の法改正が行われたことから、それに合わせて、鎌倉市耐震改修促進計画の見直しを行う。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡ A	
								※□事業完了			

評価者名

建築指導課担当課長

都筑 征史

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
建築相談 事業	耐震相談・耐震診断、耐震改修工事費の補助等に関する事業				○	○	○	○	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		746	耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼	102	85	○	○	○	○
		811	耐震相談業務委託料	416	347	○	○	○	○
		811	現地耐震診断補助金	3,700	2,000	○	○	○	○
		746	木造住宅耐震改修工事費等補助金	22,200	18,600	○	○	○	○
746	危険ブロック塀等対策事業補助金	2,000	1,049	△	○	○	○		
※ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な 個別 事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※ 事業完了									